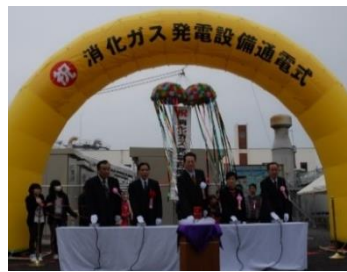
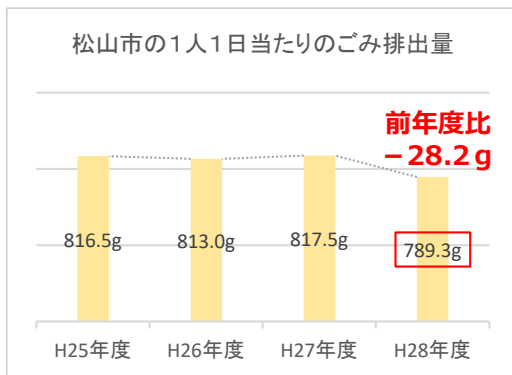


3. 環境・安全安心 で幸せ実感

幸約 8 「環境モデル都市」として太陽光発電等の利用促進を目指すサンシャインプロジェクトなどを推進します。ごみ減量・リサイクルを推進し、全国トップレベルの少ないごみ排出量を維持します。

主な取組実績

- 太陽光発電システムの設置補助件数及び出力合計は中核市最多、世帯普及率は全国トップクラス
- 住宅用蓄電池の設置者に対する補助をスタート
- 中島支所に「BEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）」を導入
- 中央浄化センターに「消化ガス発電設備」を整備し、売電を実施（中四国初）
- 横谷埋立センターに「エコ次亜生成施設」を整備し、下水処理場で消毒剤として利用（日本初松山方式）
- 市民1人1日あたりのごみ排出量（人口50万人以上の都市）9年連続最少を達成、全国トップクラスの少なさを維持
- 飲食店等での食べ残しを減らす「3010（さんまるいちまる）運動」を推進



▲ 消化ガス発電設備通電式
(中央浄化センター)



▲ エコ次亜生成施設
(横谷埋立センター)

幸約 9 不法投棄の防止対策を強化します。原因者に対する徹底した責任追及を前提に、愛媛県と連携しながら、産業廃棄物処理問題への適切な対応を行い、地域住民の安全を確保します。

主な取組実績

- 支障等除去等対策工事を計画通り着実に実施（平成30年度未完了予定）
- 原因者に対して徹底した責任追及を実施
(措置命令などの行政処分、命令違反に対する刑事告発、代執行費用の求償)
- 愛媛県と、財政的、人的及び技術的支援に関する協定を締結
- 再発防止策を定め、処理業者等への立入検査を強化
- 不法投棄防止パトロールに加え、年6回スカイパトロールを実施

主な取組実績

- ・全41地区で自主防災組織を結成（結成率100%）、防災士数 全国1位を維持
⇒自主防災組織ネットワーク会議が「平成28年防災功労者 内閣総理大臣賞」を受賞
- ・消防団員数 四国1位、女性消防団員数 全国1位を維持
- ・市内の防災関係団体の連携を強化するため「松山市地域防災協議会」を設立
- ・地元大学と連携して学生の防災士資格取得を促進し、500人以上の大学生防災士が誕生、愛媛大学防災リーダークラブを結成
⇒若い世代への防災教育が評価され「第22回防災まちづくり大賞（日本防火・防災協会会長賞）」を受賞
- ・小中学校体育館の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付け
- ・避難所となる施設に備蓄物資や資機材を追加配備、公民館への分散備蓄を開始



▲ 事業所消防団員



▲ 自主防災組織ネットワーク会議が平成28年防災功労者 内閣総理大臣賞を受賞



▲ 地区防災訓練



▲ 大学生防災サバイバル



▲ 地区の自主防災組織と連携し、小中学校体育館窓ガラスに飛散防止フィルム貼付け



▲ 熊本市への支援物資の提供

幸約
11

小中学校、幼稚園、保育所、公民館、道路橋梁などの耐震化を進めます。一般木造住宅や特定の民間の病院・ホテルなどの耐震化を支援します。

主な取組実績

- ・当初の計画を5年前倒して**全ての小中学校校舎の耐震化を完了（耐震化率100%）**
- ・**全ての市立幼稚園園舎の耐震化も完了（耐震化率100%）**
- ・耐震化が必要な保育所4園について、今後の方針を検討
- ・耐震化が必要だった余土公民館は、中学校施設を有効活用して改修整備
- ・耐震化が必要な重要橋梁2橋の設計を実施（平成30年度から耐震化工事に着手予定）
- ・木造住宅の耐震診断補助金を拡充、耐震診断技術者の派遣を開始するなど、耐震化を促進
- ・民間特定建築物の耐震改修設計と耐震改修工事費用の一部を補助し、耐震化を促進



▲ 耐震化された校舎



▲ 熊本地震での現地調査の様子

幸約
12

市議会の決議に基づき、西条の水を守る立場で、西条分水を基本とした新規水源確保に努めます。水需給計画の精査も行います。

主な取組実績

- ・西条市、新居浜市、愛媛県、松山市の4者で構成する「水問題に関する協議会」幹事会で協議を継続
- ・平成16年2月に策定した「長期的水需給計画」が目標年次を迎えたことから、検証を行い、**「長期的水需給計画基本計画（改訂版）」を策定**
- ・愛媛県からの「西条と松山の水問題に対する6つの提案」に対して回答を行い、西条市長にも回答内容を説明、水問題への協力を依頼



▲ 石手川ダム



▲ 「6つの提案」に対して愛媛県に回答